

ユニットケア全国実践者セミナー

平成28年3月5・6日に兵庫県神戸市の神戸学院大学で行われた「第15回 気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」で特別養護老人ホーム寿山荘那須の実践事例を発表いたしました。

実践事例は『「ここは、夜に入れねえのか？」からのスタート!』と題した、寿山荘那須での夜間の入浴支援の取り組みです。開設当初に夜間入浴に取り組んだときにはうまくいかなかった反省をふまえ、再度、施設全体で丁寧に時間をかけて話し合い実現に至った経緯と、職員の退職や育児休暇で人員が減ったときにも工夫して継続することができた取り組みについての発表いたしました。

自宅で生活している方にとってはごく当たり前の夕食後の入浴。施設に入居になったからといって、その当たり前が叶えられないのはどうなのか…?という職員の疑問に、ショートステイのご利用者様からの「ここは、夜に入れねえのか?」という声の後押しとなって実現に至りました。

この内容は昨年度のユニットケア全国実践者セミナーでも発表したのですが、前回の発表の中から特に好評だったということで今回は「アンコール報告」としてご招待いただきました。



↑神戸学院大学にて。発表を終えた東田光功・介護支援専門員と高久直次・介護主任